



駆除作業前



駆除作業後

【教育 GP】原田先生フィールドワークゼミナール

淀川庭窪わんど外来水生植物駆除活動に参加しました！

6月19日（土）大阪の淀川で開催された外来水生植物の駆除作業に参加しました。大阪府内の淀川の3か所で一斉に行われた外来水生植物の駆除作業には、地元の方のほか、大学や行政、企業から約210の方が集まりました。

今回からは、環境省の「COP10 パートナシップ事業」に登録され、大阪府が事務局（主催）となり、国土交通省河川事務所（支援）のもと、大阪産業大学、大阪商業大学、三洋電機、パナソニックグループ、地域NPOなどの団体の協力で実施されています。



さて、朝10時に集合して、いよいよ作業開始です。胴長靴を履いた水中班と、回収されたゴミと外来水生植物の分別作業を行う「陸上班」に分かれての作業となります。

今回で4度目となる学生の作業は随分と手慣れたものでした。集めた水草やゴミは、いったんボートに乗せて、陸上に引き上げます。そして陸上に引き上げたボートを、ひっくり返して水草とゴミを降ろします。今度は陸上班の出番です。大量の水草の中から、ゴミだけを取り出して袋に詰めていきます。ゴミは、ペットボトル、缶、ビン、その他に分類します。

植物の駆除が進むにつれて、少しずつ水面が現れてきました。こうして水草を除去することで水中にまで光がさし、水質も改善されるのです。

1時間ほどの作業でご覧の通りです。（上段右写真）

ちなみに今日行われた作業の成果は以下の通りです。（重量は駆除した植物の量です。）

- 点野わんど 1.2t （70名）
- 庭窪わんど 3.0t （60名）
- 赤川わんど 1.5t （80名）

3か所で5.7tの外来水生植物を駆除することができました。ちなみに庭窪わんどでのゴミの回収量は、45リットルのゴミ袋に80袋でした！